

かくだ

第192号

平成29年5月1日



ライブ・録画配信やってます
<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp/>

※詳細は12ページ



Kakuda city



▲角田市消防団春季消防演習のようす（平成29年4月16日「角田中央公園多目的運動場」にて）

■おもな内容■

第386回定例会

- ◇本会議の概要…………… 2～4
- ◇予算審査特別委員会審査から…………… 3
- ◇審議結果一覧…………… 4
- ◇請願審査一覧…………… 4
- ◇一般質問…………… 5～9

- ◆第11回議会報告会……………10・11
- ◆平成28年度行政視察の受け入れ状況……………11
- ◆議会日誌……………12
- ◆6月定例会日程（予定）……………12
- ◆編集後記……………12

新年度予算議案など

33議案を審議しました

第386回定例会は2月20日に招集され、市長提出議案が29件、議員提出議案が4件、あわせて33件の議案を審議しました。
このうち新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、条例議案については、所管の産業建設常任委員会に付託しました。上程された議案は、慎重に審議され、30日間の会期を経て3月21日に閉会しました。

本会議

◎第1日（2月20日）
会期を3月21日までの30日間と決定した後、市長から平成28年度各種会計補正予算のほか、平成29年度角田市予算案及び施政方針に関する説明等がありました。

次に、2件の請願について、紹介議員の補足説明の後、いずれも産業建設常任委員会に付託しました。

◎第2日（2月28日）
初日に提案された議案に対し、相澤邦戸議員、日下七郎議員、八島定雄議員、武田曉議員、堀田孝一議員の5人が質疑を行いました。

◎主な制定内容
・農業委員の定数14人
・推進委員の定数17人
◎施行期日 平成29年3月31日（ただし、農業委員は、その在任期間中の委員の定数等については、従前の例による。）

▼角田市中心小企業の振興に関する条例の制定について
角田市における中小企業の振興についての基本理念や市の責務等を明らかにすることにより、中小企業に関する施策を総合的に推進し、角田市の経済の発展及び雇用の場の創出を図り、市民生活の向上に寄与するため、条例の制定を行うものです。

陳情の処理

▼国民年金等の削減をやめ最低保障年金制度創設等を求める意見書の提出を求める陳情

仙台市青葉区五橋一丁目5-13
全日本年金者組合宮城県本部
執行委員長 宮野 賢一

▼東日本大震災による被災者医療等一部負担金免除の継続・復活を求める陳情書

上程した議案のうち、条例関係2議案は産業建設常任委員会に付託し、平成29年度各種会計予算関係8議案については、予算審査特別委員会（高橋力雄委員長、黒須貫副委員長）を設置して付託しました。

◎第3日（3月3日）

個人情報保護条例の一部改正についてなど、条例の一部改正8議案について、討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

次に、平成28年度角田市一般会計補正予算（第5号）など7議案について、討論、表決を行い、いずれも原案の通り可決しました。
その後、あっせんの申し出

仙台市青葉区大町二丁目5-101305
東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
綱島 不二雄
▼北角田中学校校区通学路の安全確保を求める陳情
角田市江尻字前原50番地
北角田地区学校教育振興会
会長 渡邊 誠

意見書の提出

国の関係機関へ次の意見書を提出しました。

▼国民年金等の削減をやめ最低保障年金制度創設等を求める意見書

▼地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

▼農業者に寄り添った自律的な農業・農協改革を推進するための意見書



予算審査特別委員会審査から

2月28日に設置された予算審査特別委員会は、3月14日までの15日間にわたり平成29年度角田市一般会計、各種特別会計及び水道事業会計予算の審査を行いました。
特別委員会の初日は、正副委員長の互選を行いました。
3月3日は一般会計の趣旨説明、質疑が行われ、6日には各種特別会計及び水道事業会計の趣旨説明、質疑を行った後、委員

会に総務財政分科会、教育厚生分科会及び産業建設分科会を設置し、各分科会において7日と8日に審査を行いました。
14日に、各分科会長から審査結果の報告があり、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。
各種会計歳入歳出予算は、表1のとおりです。

について、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

◎第4日（3月15日）

一般質問が行われ、5人の議員が市政全般について質問を行いました。

◎第5日（3月16日）

前日に引き続き、5人の議員が市政全般について質問を行いました。

◎第6日（3月21日）

産業建設常任委員会に付託した条例関係2議案について、渡邊誠委員長から審査の経過及び結果の報告があり、質疑、

主な補正予算の概要

討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。
次に、初日に上程した条例の一部改正2議案について、討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。
次に、予算審査特別委員会に付託した新年度予算案について高橋委員長より報告があり、審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。
次に、産業建設常任委員会に付託した2件の請願について、渡邊委員長から審査の経過及び結果の報告があり、質疑、討論、表決を行いました。請願の審査の結果は、4ページ表3のとおりです。

次に、平成28年度角田市一般会計補正予算（第6号）について提案理由の説明があり、質疑、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

条例の制定

最後に、条例の一部改正及び意見書の提出に関する議員提出議案4議案について提案理由の説明があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律が平成27年9月4日に公布され、農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことにより、新たな農業委員会制度における農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数について定めるため、条例を制定するものです。

表1 平成29年度 各種会計予算総括表 (単位：千円)

会計区分	平成29年度	平成28年度	比較		
	金額	金額	金額	増減率	
一般会計	13,089,000	13,260,000	▲171,000	▲1.3%	
特別会計	国民健康保険事業	3,901,791	3,853,745	48,046	1.2%
	後期高齢者医療	353,617	353,751	▲134	0.0%
	介護保険	3,110,788	3,158,711	▲47,923	▲1.5%
	公共下水道事業	1,696,960	1,454,909	242,051	16.6%
	農業集落排水事業	104,855	104,709	146	0.1%
	東根財産区	489	967	▲478	▲49.4%
	計	9,168,500	8,926,792	241,708	2.7%
企業会計	水道事業				
	収益的支出	1,055,682	1,111,746	▲56,064	▲5.0%
	資本的支出	471,375	420,195	51,180	12.2%
計	1,527,057	1,531,941	▲4,884	▲0.3%	
合計	23,784,557	23,718,733	65,824	0.3%	



農林水産省の米政策改革の現状と見直しについて

日下七郎

議員▼農林水産省による、平成30年度米から行政による生産数量目標の配分に頼らず、農林水産省が策定する需給見通し等を踏まえ、認定方針作成者や集荷業者が中心となり、円滑な需給に応じた生産を行えることとす。そこで、角田市の米政策による角田市内の農家の経営現状を伺います。市長▼宮城県の試算では、主食用米で20ha、飼料用米5ha、大豆5ha、これに2人の労働力で取り組んだ場合、主食用米10aあたり540kgを収穫し、販売単価を60kgあたり1万4,640円とした売上額は、くず米も含めて2,700万2千円となり、主食用米の所得は差し引き約240万円、また、大豆と飼料用米の所得は、約390万円(国から水田活用直接交付金1,060万円交付)となり、更に米の直接支払交付金150万円を加え、借地料176万円を差し引いて、所得は600万円程となります。これに対し、稲作のみ30haを作付した場合の所得は、360万円以下と試算されます。

議員▼市長の答弁は、県の標準耕作面積の試算ですが、市内の農家の経営状況は伺います。農政課長▼経営規模を拡大しないと、稲作のみ作付した場合の経営は厳しい状況にあります。国の政策を取り入れながら、農地を集積し、規模拡大を推進していきたいと考えています。議員▼平成30年度米からの米政策改革について所見を伺います。市長▼国としては生産数量の配分を行わず、需給見通しを策定し、産地別の需給実績や販売の進捗、在庫状況等の情報提供を行うとして、米の直接支払交付金を廃止し、水田における麦、大豆、飼料用米等の生産に対する水田活用の直接支払交付金等の支援措置を継続することとす。こうした状況を踏まえ、宮城県は、宮城県水田農業推進方針を4月末までにまとめると伺っています。角田市では、水田農業推進協議会で協議となりますが、県の生産の目安をもち、地域の販売戦略や需給状況を踏まえながら、生産者別に生産の目安を提示することになります。農業委員会、農業者の現状は、農業者の高齢化や米価の低迷、米政策の改革など厳しい状況であり、角田市、宮城県農業会議等関連団体と連携し、農業経営者の安定のために取り組んでいきます。

議員▼平成12年の地方分権一括法施行以来、地方自治体を取り扱う事務事は増えることはあれど、削減は少ないと思われ、一方で行財政改革と職員定数の削減が進行中ですが、職員数を減らすことで、質の高い行政サービスを提供できるといえるのか、いささか心配でもあります。社会人としての見識を広げ自分を磨く時間、仲間とのコミュニケーションを養う時間、後進を育てる時間など、物理的・精神的なゆとりある環境からこそ、少数の精鋭が育つものと思えます。この点から今後の職員定数に関する市長の見解を伺います。市長▼市の職員数は、平成8年度の355人をピークに年々減少し、平成28年度には280人と、ピークに比較して75人の減となっております。平成28年度再任用を含めると297人で、人口1,000人当たり職員

1人であり、平成8年度についても、ほぼ1,000人当たり職員1人であり、標準的な職員数だと思います。総務省策定の「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」に、各地方公共団体の行政改革を集中改革プランとして作成、公表することが定められ、全国的に定員管理への取り組みが加速されました。人員削減による財政効果には多大なものがあり、平成10年度の19億3,800万円に対して平成27年度は13億6,400万円となり、単年度比較で5億7,400万円、17年間の累積では何と54億1,100万円余りの財政効果があったことになりました。しかし近年、少子高齢化をはじめとする社会情勢の変化を背景に、市民ニーズも多様化していることや、国の政策への対応が複雑多岐になっていくのも事実で、職員の負

担も年々増加し、まさに身を削りながら行政サービス向上のために頑張っている状況であります。今後はこれまでの常識を変えていくことが前提になりますが、適切な職員数の議論と同時に、働き方を変え、個人の能力を伸ばしつつ組織としての仕事の仕方を改善して組織力を強化し、時間当たりの生産性を高めていくことが重要と思っております。そのためには、組織内の信頼関係を構築し、さらに情報共有を意図することにより、おのずと職場が活性化し、チーム力が向上するのではないかと考えております。大きな課題だと考えておりまして、平成29年度、ちよど定員適正化計画見直しの時期に当たっていますので、真の行政改革を実現するためにも、この働き方改革を進めながら、同時に適正な定員管理を進めたいと思っております。



行政改革と職員定数について

細川健也

表2 第386回定例会審議結果一覧

議員数は17人。議長は決表に加わらないため、3月3日の表決に参加した議員は16人。また、1人の議員が病気により欠席したため、3月21日の表決に参加した議員は15人。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			市民クラブ	志政クラブ	日本共産党 角田市議団	創生活会	無会派
市長提出議案							
角田市一般会計補正予算(第5号)	3月3日	可決 (賛成12 反対4)	○	○	×	×	○
角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) 角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 角田市介護保険特別会計補正予算(第4号) 角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 角田市水道事業会計補正予算(第3号)	3月3日	可決	○	○	○	○	○
角田市一般会計補正予算(第6号)	3月21日	可決 (賛成11 反対4)	○	○	×	×	○
平成29年度度三初予算							
角田市一般会計予算	3月21日	可決 (賛成11 反対4)	○	○	×	×	○
角田市国民健康保険事業特別会計予算 角田市後期高齢者医療特別会計予算 角田市介護保険特別会計予算 角田市公共下水道事業特別会計予算 角田市水道事業会計予算	3月21日	可決 (賛成13 反対2)	○	○	×	○	○
角田市農業集落排水事業特別会計予算 角田市東根財産区特別会計予算	3月21日	可決	○	○	○	○	○
条例							
個人情報保護条例の一部改正について 角田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について 一般職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 角田市市税条例等の一部改正について 角田市保育の実施に関する条例の一部改正について 角田市国民健康保険税条例の一部改正について 角田市地域包括支援センターの職員に係る基準等に関する条例の一部改正について 市営住宅条例の一部改正について	3月3日	可決	○	○	○	○	○
角田市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について 特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 角田市中小企業の振興に関する条例の制定について	3月21日	可決 (賛成13 反対2)	○	○	×	○	○
3月21日	可決	○	○	○	○	○	
その他	あつせんの中立てについて	3月3日	可決	○	○	○	○
議員提出議案							
条例	角田市議会基本条例の一部改正について	3月21日	可決	○	○	○	○
意見書	国民年金等の削減をやめ最低保障年金制度創設等を求める意見書の提出について	3月21日	可決 (賛成14 反対1)	○	○	○	○(2) ×(1)
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	3月21日	可決 (賛成10 反対5)	○	○	×	×	○(2) ×(1)
農業者に寄り添った自律的な農業・農協改革を推し進めるための意見書の提出について	3月21日	可決	○	○	○	○	○

表3 第386回定例会請願審査一覧

件名	請願者の住所及び氏名(紹介議員)	議決年月日	議決結果	市民クラブ	志政クラブ	日本共産党 角田市議団	創生活会	無会派
農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書の提出についての請願	大崎市古川刈尻大見18-1 宮城県農民運動連合会 会長 鈴木 道夫 (紹介議員: 日下七郎)	3月21日	不採択 (賛成4 反対11)	×	×	○	○	×
農業者に寄り添った自律的な農業・農協改革を推し進めるための意見書の提出についての請願	柴田町西船迫一丁目10-3 みやぎ山南農業協同組合 代表理事組合長 浅野 清 (紹介議員: 武藤広一)	3月21日	採択	○	○	○	○	○

《各会派の構成メンバー》
 ●市民クラブ (星守夫、湯村勇、高橋力雄、細川健也) ●志政クラブ (堀田孝一、八島 利美、武藤広一、黒須貫) ●日本共産党角田市議団 (日下七郎、八島定雄)
 ●創生活会 (小湊毅、武田暁) ●無会派 (会派に属さない議員) 馬場道晴、渡邊誠、相澤邦戸、小島正副議長、柄目孝治議長



大震災後の角田市の学校教育について

黒須 貫

議員▼震災後の子ども達の成長と学校の様子について、市内の小中学校に伺いました。

震災の記録を残しているのは2校でした。防災のため記録を残すべきと考えますが、所見を伺います。

教育長▼記憶は薄れつつありますが、記録として継承しなければなりません。震災の記録を作成させ、今後の参考にします。

議員▼子ども達に大きな変化は見られませんが、心に対する注意が必要だと言います。サポートはどうしていますか。

教育長▼学校の対応に加え、市の関係部署の支援も行い、細心の注意を払っています。

議員▼震災を乗り越え、震災や防災について学び体験したことが、子ども達の成長につながっていると思いますが、いかがですか。

教育長▼同感です。熊本地震の際は、子ども達が自発的に募金活動を行った例がありました。東根小学校では県の防災教育

事業の地域指定となり、子ども達が自主的に防災パンフレットを作り、地域に配っています。

議員▼学校間で防災活動の連携は行われていますか。

教育長▼安全担当主幹教諭を中心に、市内小中学校の防災教育の推進、年2回行う角田市学校防災担当者会議など、様々な取り組みをしています。

議員▼全ての学校で、防災に関して、学校・PTA・行政・地域の連携が課題だと伺いました。行政がしっかりと対応すべきと考えますがいかがですか。

市長▼災害発生時、学校は極めて重要な役割を果たします。日頃からの訓練や地域連携が必要で、学校と行政の連携は様々な課題があります。課題については、角田市学校防災担当者会議で伺った上で再度説明したいと考えています。防災に関して、しっかりと継続・確認をしていきます。

教育長▼学校内に避難所を開設した際、教員は児童

児童の安否確認等に専念できるよう配慮しています。

議員▼放射能被害からどう森林を再生しますか。

市長▼県の「ほだ木等木材再生実証事業」の成果を踏まえながら方策を検討していきます。

議員▼ナラ枯れ病対策として、被害を受けやすい太極木を事前に伐る方法はどうですか。

市長▼拡大を抑えることも大事でしょうから、専門家の意見を聞きながら対応します。

議員▼市町村の森林整備を目的に「森林環境税」創設の動きがありますが支持する考えはありますか。

市長▼国や県の動向を注視します。議員▼農政課は農林課であるべきではないですか。市長▼来年度、組織見直しの集中改革プランを行います。名称変更だけでなく全体を見直します。



現有遊休施設活用について

堀田 孝一

議員▼旧角田女子高跡地活用について、市長はどのような将来構想をお持ちなのかが伺えます。

市長▼旧角田女子高の跡地の使用状況につきましては、ほとんどの面積を部活動で利用している状況であります。

工場用地としての活用を考えましたが、周辺が住宅地であり、跡地だけ

を準工業地域に用途変更することは認められないと宮城県より助言を頂いています。

議員▼平成23年、小田小学校と角田小学校の統合に伴い、旧小田小学校の跡地に関する利用計画については、地域の総意として平成25年に小田地区振興協議会より検討結果報告書が提出され、財源の確保も含め、方向性を見いだしていきたいとのことでしたが、旧小田小学校跡地活用について、どのようにしていくのですか。

市長▼平成25年7月に小田地区振興協議会長から跡地利用に関する検討結果報告書を頂きました。内容については、1階は自治センター及びコミュニティの拠点、2階は郷土資料館の資料の収蔵展示のスペースとして利用するということでありました。地元計画の実現可能性について、何度か検討を行ってきましたが、平成18年の耐震診断調査で基準に満たないとされており、更に先の東日本大震災で給水管等に大きな被害が出ています。耐震改修工事に加え、利用に合わせた改造が必要なことから、多額の費用が

見込まれ、財源の確保が容易でない状況です。また、自治センター機能につきましても、人口規模を考慮しますと、現在の自治センターの施設で十分機能が果せると判断しておりますので、小田地区からの提案を具現化することは、大変難しい状況にあります。

今後、小田地区振興協議会から戴いた報告書に対する回答を、申し上げた内容で丁寧に説明していきます。

議員▼平成28年8月から新学校給食センター稼働に伴い、北郷地区にある旧給食センターは売却の方向で進めているとのことですが、閉鎖から6カ月が経過しましたが、状況はどのようになっていますか。

市長▼不動産鑑定評価を経て、9月1日以降、2回の入札公告を実施致しましたが、申込みはありませんでした。入札参加申し込みがなかったことから、2月13日より申し込み先着順で、1,990万円売却することとし、市のホームページ等で周知したところ、現在、県外からの業者も含め、数社と交渉中です。

堀田議員その他の質問

○空き家バンクの有効活用について

議員▼東北放射光施設構想の概要について、改めて伺います。市長▼東日本大震災からの復興を目指して、世界でも最先端の性能を誇る中型高輝度放射光施設の東北地方への設置を国に要望しているもので、次世代型の放射光施設はSUTi(スリットジェイ)といい、大きさが直径100m、全周340mのリング型の形状で、他の放射光施設と比較すると大変コンパクトな計画です。必要な敷地面積は施設本体で15ha、全体では本体の3.5倍の面積が必要で、本年4月中旬に用地を選定し、2018年度着工、2020年度完成予定です。建設費は約300億円、経済波及効果は建設から運用までを想定し、10年間で生産誘発額が約3,200億円、誘発雇用者数は約1万4千人が見込まれるビッグプロジェクトです。期待される効果としては、地域産業への貢献と震災の創造的復興が挙げられます。

議員▼東北放射光施設構想の概要について、改めて伺います。

市長▼東日本大震災からの復興を目指して、世界でも最先端の性能を誇る中型高輝度放射光施設の東北地方への設置を国に要望しているもので、次世代型の放射光施設はSUTi(スリットジェイ)といい、大きさが

が直径100m、全周340mのリング型の形状で、他の放射光施設と比較すると大変コンパクトな計画です。必要な敷地面積は施設本体で15ha、全体では本体の3.5倍の面積が必要で、本年4月中旬に用地を選定し、2018年度着工、2020年度完成予定です。建設費は約300億円、経済波及効果は建設から運用までを想定し、10年間で生産誘発額が約3,200億円、誘発雇用者数は約1万4千人が見込まれるビッグプロジェクトです。期待される効果としては、地域産業への貢献と震災の創造的復興が挙げられます。

議員▼より積極的な誘致活動を推進するべきと考えますが、これまでの誘致活動と今後の活動計画について伺います。

市長▼平成24年6月に東北地方の国立7大学で東北放射光施設推進会議設立。同年10月に丸森町が誘致表明。平成26年2月に宮城県南4市9町で宮城県南地域放射光施設誘致促進協議会を設立し要望活動を実施。平成26年12月に村井知事と下村博文文科大臣に要望書を提出。平成27年6月に第三者委員会の現地確認が行われ、丸森町は堅固な地盤で、物理的な根幹要素



東北放射光施設の積極的誘致活動と併せた(仮称)みやぎ県南横断高規格道路の整備促進について

八島 利美

として最適と評価されました。この間、各種シンポジウムへの参加、意見交換会等を通じ、機会あるごとに関係者に対し誘致への熱意を伝えてきました。今回の急展開に対しても、本年2月に誘致促進協議会から村井知事に改めて要望書を提出するとともに、衆議院議長をはじめとする国の関係者に対し要望書を提出しました。今後も丸森町と協力しながら最後まで熱意を絶やすことなく全力で誘致活動を展開していきます。

議員▼東北放射光施設誘致と併せて、(仮称)みやぎ県南横断高規格道路整備を促進すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長▼平成10年2月に白石・角田・山元間広域幹線道路整備促進協議会を設置し整備してきた経緯があり、角田山元トンネルの開通など一定の成果を挙げています。近年は、東北放射光施設の誘致の内容も加えて要望しています。高規格道路としての整備は、常磐道と東北道を接続する横断軸の整備は県としても重要であると認識しておりますので、引き続き安全で円滑な交通の確保に向けて要望していきます。



まちづくりへの市民意見の反映等について

武田 暁

来ていると思っております。また、「協働のまちづくり」とは地域の要望を出してそれを叶えるものだという誤解が生まれてはいないかという懸念を私は持っています。行政が全てをやり切れない所については地域の中でやって頂きたいということとです。

議員▼行政に寄せられた市民意見がどのように政策や予算に生かされているのかといった「見える化」や、丁寧な説明と発信が必要ではないかと感じられますが、考えを伺います。

市長▼広報かくだに重点事業を掲載し、広く市民に周知をしています。議会に対しては、予算計上前に資料により新年度事業の内容説明をしています。更に、まちづくり懇談会では新年度の事業について地域の皆さんに説明するとともに、ホームページ等にも掲載しています。地区振興協議会の要望事項には年間4、

500万円の枠で行う事を決めさせて頂き、予算確保に努めています。お互いに納得や妥協がないと対立関係が深まるだけで何もありません。妥協できる所はして頂き、熱意を受け取って頂くことだろうと思っております。

議員▼議会における一般質問等は、今後検討いたします」との答弁を得ることがあります。昨年12月議会では23回、9月議会では26回、年間4回の議会があるとして、約100回仰っていると思われませんが、その後の検討はどうなっていますか。

市長▼「検討します」とあるのは「調査します」と答弁したものは、議会終了後に開催する部課長会議で全て調査検討しています。そこで埒が明かないという場合には、個別に担当課で調査検討して、個別に市長に結果を上げるといふ流れにして



少子化対策について

馬場道晴

議員▼政府は、子ども医療費の独自助成を実施している市町村に対し補助金を減額調整するペナルティ的な措置を続けてきました。未就学児までを対象とする助成については来年度から減額調整措置を廃止し、この見直しで生じた財源で他の少子化対策を拡充するよう、昨年末に厚生労働省が全国の自治体に通知しています。

本市もこの財源を活用し、更なる少子化対策の拡充をしてほしいと思いますが、市長の考えを伺います。

市長▼本市の喫緊の課題は、保育施設の整備です。保育所に子どもが入所できず「仕事を辞めざるを得ない」「2人目を産むのは無理」との声に悩んでいくことが重要であると考えており、今回の見直しで生じた財源の使途については、保育施設整備を中心に活用したいと考えています。

議員▼本市の喫緊の課題は、保育施設の整備です。保育所に子どもが入所できず「仕事を辞めざるを得ない」「2人目を産むのは無理」との声に悩んでいくことが重要であると考えており、今回の見直しで生じた財源の使途については、保育施設整備を中心に活用したいと考えています。

議員▼本市の喫緊の課題は、保育施設の整備です。保育所に子どもが入所できず「仕事を辞めざるを得ない」「2人目を産むのは無理」との声に悩んでいくことが重要であると考えており、今回の見直しで生じた財源の使途については、保育施設整備を中心に活用したいと考えています。

額を組合負担とする画期的な成果が得られました。平成26年4月からの消費税の増税や、東日本大震災による復興工事等に係る労働単価や建設資材高騰による事業費の増により、工事内容等を変更しないにも関わらず約1億1,500万円の不足額が生じることが判明しました。そこで、仙南広域の構成市町の首長を訪問し、角田市として限度額の増額を強く要請しました。一部が一部の市町の賛同が得られず、合議制で決定する一部事務組合であることから、断念せざるを得ませんでした。

議員▼去る2月20日に市長から（仮称）仙南グリーンセンター建設に係る毛萱地区地元対策事業について、消費税の増税や東日本大震災による建設資材高騰等により、地元対策事業に1億1,500万円程度の不足額が生じたとの行政報告を受けました。

なぜ、この事業費増額分を角田市が負担しなければならぬのですか。

市長▼これまで、仙南広域で行う事業にかかる地元対策事業については、施設を建設する地元市町に仙南広域が寄附金等を支出し、地元市町が事業を実施してきました。

今回の（仮称）仙南グリーンセンターの建設においては、仙南広域や構成市町に働きかけを行い、地元より要望のあった毛萱地区地元対策事業費6億2,337万円の全

また、仙南広域の財政調整基金（仙南グリーンセンター分）に事業実績の不用額約3,400万円が積み立てられていたことから、その全額を毛萱地区の地元対策事業に充てるよう強く要請し、その予算を獲得することができました。



面的農地集積を目指した大区画ほ場整備の実現について

武藤 広一

議員▼今国会で審議されている「土地改良法改正（案）骨子」によると、農地中間管理機構が借入れた農地は、所有者負担なしでほ場整備等ができるようにする内容です。現在、南江尻地区においてほ場整備に向けて調査同意に入ったと聞いております。例えば今国会で法案の改正が成立した場合、南江尻地区がこの事業に該当すると思います。市長の考えを伺います。

地化一を進め、生産コストを削減し所得向上を目指す、この豊かな田園を子々孫々に伝える必要があります。今一度「農業は角田に学べ」と言われるためにも、「大区画ほ場整備」を実現させる必要があります。今がチャンスだと思いますが市長の考えを伺います。

議員▼放射能汚染廃棄物の「県内一斉焼却」は、住民との十分な合意形成を行わず、一方的に実施しようとしていることが最大の問題です。角田市で行った住民説明会は、昨年12月19日に（仮称）仙南グリーンセンターで開催した1回きりです。これで住民の合意形成が行われたと考えておられません。安全性が科学的に確認されて、住民合意がしっかりと得られるまで、焼却はやめるべきではないです。

議員▼市町村長会議は、情報交換や意見交換等の場で、決定する場ではありません。村井知事には何の権限もなく、また、特措法、廃掃法でも何もうたっていない。このことについては確認できますか。

市長▼何でこの問題が市町村に押し付けられているのかというところは、私だけに限らず、皆さんも不満に思っていると聞いています。しかし、現実には法律の中でやらざるを得ません。市町村が直接、国や東京電力との事業を進めるには限界があることから、知事がリーダーシップを発揮するのは当然だと思います。議員▼私はまだ住民の合意が得られていないと考えています。角田市説明会を開催し、住民の理解と合意を図っていくべきと考えますが、市長の考えを伺います。

議員▼これまで10年間、協働によるまちづくりを行ってきましたが、どのような成果があったと総括しているのですか。

市長▼住民自治、官民協働のまちづくりを進め、地域住民の主体的、自主的、組織的に自治活動を促すために地区振興協議会の設置が必要だったと聞いています。各地区振

角田市の「協働によるまちづくり」とは何か

小 湊 毅



興協議会において、地域特有の課題解決や地域資源を生かした活発な取り組みがなされ、コミュニティづくりが進んできたことは、一定の成果があったものとして認識しています。

議員▼農協関係の多面的機能支払交付金と協働のまちづくりの地域づくり総合交付金は、全く次元の違う事業なので、比較にはなりません。必要なのは総交付金以外の補助事業で対応しています。事業があっても、初めて予算がつくものと思いません。



放射能汚染廃棄物の焼却処分問題について

八島 定雄

議員▼市町村長会議は、情報交換や意見交換等の場で、決定する場ではありません。村井知事には何の権限もなく、また、特措法、廃掃法でも何もうたっていない。このことについては確認できますか。

市長▼市町村長会議の中で、知事自身がそのようにおっしゃっているように、000ベクレル以下の汚染廃棄物の一般廃棄物については、市町村の仕事になっていないことを前提に、個別の市町村では事が進まないのが、広域的な観点から県がまとめ役になって進めていきたいと話していました。

議員▼今回の放射能汚染廃棄物の処理は、汚染廃棄物の排出者である東京電力と国の責任を問わないで市町村にその処理を押し付けることは筋違いです。このことについて市長はどのように考えていますか。

意見・要望の主なもの

市民の皆様からいただいた主な意見・要望に対する当日の回答は次のとおりです。また、議会報告会後、市担当課に確認した事項について、得られた回答も併せて掲載します。

議会に対して

質問▼全国的に注目を浴びている政務活動費について、角田市議会の現状はどうなっていますか。

当日の回答▼角田市議会の政務活動費は一人あたり月額5千円で会派に交付されています。使用目的に制限があり、使用した場合は、領収書を添付するとともに、報告書を議長に提出しており、その報告書については閲覧可能です。また、政務活動費の使途について、更なる透明性の確保を求める時代の要請に応えるため、議会庁舎内に足を運び閲覧請求の手続きを踏むことなく、市民が容易に閲覧できるように、収支報告書、領収書等を平成29年4月から市のホームページで公開する予定です。

総務財政常任委員会所管

質問▼各市区振興協議会の要望事項について、実施期間は10年ですが、区長の任期は3年です。要望事項が完了しないうちに、区長が交代することから、各市区振興協議会で行う事業は、短期間で金額が少額のものをするべきではないですか。

当日の回答▼市区振興協議会から出された要望事項については、市で行うべきか、各市区振興協議会で行うべきか、しっかり線引きをしなければなりません。協働のまちづくりを根本から見直しをする時期であると考えます。

担当課から得られた回答▼各市区で地区振興協議会要望事業として優先順位を付けてあげて頂いた3、4つの事業については、当時、事業規模や実施計画を各地区に説明しており、了解を得た上でこれまで進めてきたものと認識して

市民に開かれた 第11回議会報告会に255人

角田市議会では、市民の皆様へ日頃の議会活動を身近に感じていただくため、1月14日から22日まで、市内16会場に出向き議会報告会を開催しました。はじめに「第10回議会報告会の意見・要望に対する検討結果について」の報告を行い、その後、報告に対する質疑応答や地域の課題について意見交換をしました。

表4 第10回議会報告会開催状況

開催日時	会場	対象地区	参加者数(人)		
			男性	女性	合計
1月14日(土) 午前10時	小田自治センター	小田地区	20	1	21
1月14日(土) 午後1時30分	野田生活センター	角田地区(野田)	17	9	26
1月15日(日) 午前10時	藤尾自治センター	藤尾地区	19	7	26
1月15日(日) 午後1時30分	東根自治センター	東根地区	21	1	22
1月16日(月) 午後6時30分	西根自治センター	西根地区	21	1	22
1月19日(木) 午後6時30分	枝野自治センター	枝野地区	23	3	26
1月20日(金) 午後6時30分	横倉自治センター	横倉地区	12	1	13
1月21日(土) 午前10時	南町公民館	角田地区(西南町、東南町、立町、中島、北町、谷地町)	12	1	13
1月21日(土) 午前10時	北郷自治センター	北郷地区	12	2	14
1月21日(土) 午前10時	新丁三区区民会館	角田地区(新丁、新丁東、新丁西、寺前)	14	0	14
1月21日(土) 午後1時30分	東田町公民館	角田地区(西田町、東田町、横田町)	8	0	8
1月21日(土) 午後1時30分	豊室公民館	角田地区(豊室、古豊室)	2	0	2
1月21日(土) 午後4時	老ヶ崎住宅集会所	角田地区(老ヶ崎)	7	3	10
1月21日(土) 午後6時	桜自治センター	桜地区	14	3	17
1月22日(日) 午前10時	高畑南公民館	角田地区(新中島南、新中島北、中島下、高畑南)	12	2	14
1月22日(日) 午後1時30分	街なか交流サロン「ひだまり」	角田地区(東町、本町、東仲町、西仲町、天神町)	6	1	7
合計			220	35	255

また、現在未着工の事業については、優先順位の入れ替えも可能としているため、区内で再整理を図っていたら、可能な限り早期実現を目指してまいります。

教育厚生常任委員会所管

仙南クリーンセンターについて

質問▼煙突から出ている煙は、大丈夫なのですか。

当日の回答▼煙突から出ているのは煙ではなく、殆どが水蒸気なので問題はありません。また、ダイオキシン等を除去する装置がついているので心配ありません。

質問▼最終処分場のごみを再度燃やす可能性はあるのですか。

当日の回答▼焼却炉は流動床式ガス化溶融炉と言い、最終処分場のごみを分別して再燃焼し、ごみから発生した灰をスラグ化して再利用し、金属類を回収します。

質問▼ダイオキシンの濃度はどれくらいですか。

当日の回答▼ダイオキシン濃度は0.1ナノグラム以下になっています。

質問▼仙南クリーンセンターができたことにより、旧角田

衛生センターは取り壊すのですか。

当日の回答▼角田衛生センターの取り壊しについては、財源に余裕がないことから当分行われません。また、角田衛生センター敷地内にある、し尿処理施設と犬・猫等の死体を焼却する動物焼却施設は引き続き稼働いたします。

質問▼ごみの分別方法は変わりますか。

当日の回答▼プラスチックごみ等、変更があるようです。担当課から得られた回答▼布団や剪定枝など、直接自分で搬入する場合は今まで規格に制限がありました。また、衣装ケースやクーラーボックスなどの「粗大のプラごみ」の受け入れが可能となりました。

産業建設常任委員会所管

質問▼賑わいの交流拠点施設「道の駅」の建設について、どのような状況になっていますか。

当日の回答▼テナントや出荷者の募集を行い、テナントでは2店舗、生産農家を含めた出荷希望者が100人を超えております。支配人候補者は1月から採用され、業務に従

事しています。

関係機関と協議をしながら基本設計を進め、併せて用地交渉を行っております。

担当課から得られた回答▼直売所への出荷申込者については、3月23日現在で113人となっております。

テナントについては、3店舗(物販テナント1店舗・飲食テナント2店舗)が決定しており、店舗配置等について各事業者と調整して基本設計を進めています。

コンビニエンスストアについて公募した結果、応募はありませんでした。その用地については、当面、広場として活用しますが、引き続き、コンビニエンスストアの誘致に取り組んでいきます。

また、支配人候補者についても、市の職員として採用しており、管理運営会社の設立に向けて平成29年1月から任務についています。副支配人候補者についても、平成29年4月から任務についています。造成等工事については、平成29年度に実施し、道の駅機能施設の建築にも取りかかります。更に平成30年度に地域振興機能施設を建築します。

平成28年度行政視察の受け入れ状況

角田市議会では、毎年多くの自治体議会議員の皆様へ行政視察でお越しいただいています。

平成28年度は、表5のとおり行政視察がありました。

視察の内容は、議会改革、角田ブランド戦略、地域公共交通等で、本市の先進的で特色のある取り組みが認められているものです。視察の受け入れは、情報交換の場でもあり観光振興にもつながるもので、今後も積極的に視察を受け入れ、全国に本市のまちづくりを情報発信していきます。

表5

No.	月日	視察自治体名	視察内容
1	10月11日	群馬県大泉町議会	・議会改革の主な取り組みについて ・議会報告会の開催について ・自由討議について
2	10月12日	茨城県守谷市議会 会派(もりや清流会)	・「ウエルパークかくだ」について
3	10月19日	北海道沼田町議会 産建福祉常任委員会	・角田市農業振興公社の取り組みについて
4	10月24日	神奈川県相模原市議会 会派(民進党・市民クラブ)	・議会運営について ・JAXAを活かしたシティセールスについて
5	11月16日	徳島県阿波市議会 産業建設常任委員会	・角田ブランド戦略について
6	11月21日	兵庫県たつの市議会 会派(清風クラブ・公明党)	・デマンド型乗合タクシーの実施状況とその後の課題について

市議会6月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 6月 5日(月) 招集告示、会派代表者会議
- 7日(水) 議員協議会、議会運営委員会
- 12日(月) 本会議(提案理由の説明)**
会派代表者会議
- 14日(水) 議会運営委員会
- 20日(火) 常任委員会(請願審査)
- 21日(水) 本会議(質疑・自由討議)**
会派代表者会議
- 22日(木) 常任委員会(議案審査)
- 23日(金) 常任委員会(議案審査)
- 26日(月) 議会運営委員会
- 27日(火) 本会議(討論・表決・一般質問)**
- 28日(水) 本会議(一般質問)**
議会運営委員会
- 29日(木) 本会議**

※請願及び陳情等の提出期限は、6月5日(月)までとなります。

※本会議の開会時刻は、午前10時です。

※太文字はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。お気軽に足を運んでみませんか。

また、インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継をご覧になれます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っております



※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

第386回(平成29年2月)定例会

傍聴者数 13人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ165人

インターネット録画中継視聴者数
1月~3月 延べ552人

議会日誌

1月

- 17日 全国市議会議長会基地協議会(東京都)
- 18日 全国市議会議長会事務局職員研修会(19日・東京都)
- 31日 宮城県市議会議長会春季定期総会(塩竈市)
- 1日 かくだ市議会だより第191号発行
- 3日 宮城県市議会議長会春季定期総会(塩竈市)
- 8日 議員研修会
全員協議会
- 10日 宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 13日 市議会議員共済会代議員会(東京都)
- 15日 第386回定例会招集告示
- 16日 会派代表者会議
- 20日 議員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 27日 仙南地域広域行政事務
- 28日 組合議会定例会
本会議(第2日)
- 29日 予算審査特別委員会(第1日)
- 30日 議会改革検討会議
- 31日 会派代表者会議
- 1日 議案審査特別委員会(第2日)
- 2日 予算審査特別委員会(第2日)
- 3日 予算審査特別委員会(第3日)
- 6日 議会運営委員会
- 7日 議会改革検討会議
- 8日 予算審査特別委員会(第3日)
- 9日 予算審査特別委員会(第3日)
- 10日 予算審査特別委員会(第3日)
- 11日 予算審査特別委員会(第3日)
- 12日 予算審査特別委員会(第3日)
- 13日 予算審査特別委員会(第3日)
- 14日 予算審査特別委員会(第3日)
- 15日 予算審査特別委員会(第3日)
- 16日 予算審査特別委員会(第3日)
- 17日 予算審査特別委員会(第3日)
- 18日 予算審査特別委員会(第3日)
- 19日 予算審査特別委員会(第3日)
- 20日 予算審査特別委員会(第3日)
- 21日 予算審査特別委員会(第3日)
- 22日 予算審査特別委員会(第3日)
- 23日 予算審査特別委員会(第3日)
- 24日 予算審査特別委員会(第3日)
- 25日 予算審査特別委員会(第3日)
- 26日 予算審査特別委員会(第3日)
- 27日 予算審査特別委員会(第3日)
- 28日 予算審査特別委員会(第3日)
- 29日 予算審査特別委員会(第3日)
- 30日 予算審査特別委員会(第3日)
- 31日 予算審査特別委員会(第3日)

2月

3月

4月

- 27日 仙南地域広域行政事務
- 22日 議会運営委員会
- 20日 本会議(第1日)
- 16日 議会運営委員会
- 15日 議員協議会
- 13日 第386回定例会招集告示
- 10日 市議会議員共済会代議員会(東京都)
- 10日 宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 8日 議員研修会
全員協議会
- 28日 組合議会定例会
本会議(第2日)
- 29日 予算審査特別委員会(第1日)
- 30日 議会改革検討会議
- 31日 会派代表者会議
- 1日 議案審査特別委員会(第2日)
- 2日 予算審査特別委員会(第2日)
- 3日 予算審査特別委員会(第3日)
- 6日 議会運営委員会
- 7日 議会改革検討会議
- 8日 予算審査特別委員会(第3日)
- 9日 予算審査特別委員会(第3日)
- 10日 予算審査特別委員会(第3日)
- 11日 予算審査特別委員会(第3日)
- 12日 予算審査特別委員会(第3日)
- 13日 予算審査特別委員会(第3日)
- 14日 予算審査特別委員会(第3日)
- 15日 予算審査特別委員会(第3日)
- 16日 予算審査特別委員会(第3日)
- 17日 予算審査特別委員会(第3日)
- 18日 予算審査特別委員会(第3日)
- 19日 予算審査特別委員会(第3日)
- 20日 予算審査特別委員会(第3日)
- 21日 予算審査特別委員会(第3日)
- 22日 予算審査特別委員会(第3日)
- 23日 予算審査特別委員会(第3日)
- 24日 予算審査特別委員会(第3日)
- 25日 予算審査特別委員会(第3日)
- 26日 予算審査特別委員会(第3日)
- 27日 予算審査特別委員会(第3日)
- 28日 予算審査特別委員会(第3日)
- 29日 予算審査特別委員会(第3日)
- 30日 予算審査特別委員会(第3日)
- 31日 予算審査特別委員会(第3日)

編集後記

平成29年度予算も通過し、新たな年度が始まりました。角田市議会議員は、角田市の事業の執行権はありますが、議員として大切な職責は、市政に対しての監査・検証・将来を見据えた提言であり、また、皆様の声・思いを市政に届けることです。「いいことはいい」、「ダメなものはダメ」、「問題あるものはしっかりと精査する」ということを基本に、今後とも活動して参ります。皆様の市政に対するご意見をお待ちしております。

議会だより編集会議